

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

介護保険課

1 施設の概要等

施設名	府中市デイサービスセンターほのぼの苑		
所在地	府中市上下町深江488番地3		
設置目的	介護保険及び高齢者福祉の増進を図り、各種サービスを総合的に供与するため		
施設・設備	ほのぼの苑建物		
指定管理者	R4.4.1	～	R7.3.31 社会福祉法人 翁仁会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	5,396 人	5,747 人	212 人	351 人	106.5%	%
R5	6,017 人	5,125 人	-622 人	-892 人	85.2%	%	
R6	人	人	人	人		%	
R7	人	人	人	人		%	
R8	人	人	人	人		%	
増減理由	要支援の方から要介護の方まで行える機能訓練やレクリエーションで活動性をあげ、元気づくりをすすめる。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者・ご家族との要望チェック	全家族・利用者
	【主な意見】	【その対応状況】
	利用日調整	その都度、調整をしている
	口座振替の金融機関相談	金融機関の調整

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	×	
	日報(必要随時)	×	
管理運営会議	0 回 会場	【特記事項等】 ・必要に応じて随時会議を実施する	
現地調査 (実施月)	1月 2月 3月 4月 5月	【指定管理者の意見】 ・必要に応じて随時協議を実施。	
	6月 7月 8月 9月 10月	【市の対応】 ・施設の設備確認(令和5年8月)	
	11月 12月	○	

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	0	0		R4	50,967	3,310
R5	0	0	R5	45,306	-5,661		
R6			R6				
R7			R7				
R8			R8				

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R4決算額	R5決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	0	0	0	
	料金収入	50,967	45,306	-5,661	稼働率:65.28%
	その他収入	0	0	0	
	計(A)	50,967	45,306	-5,661	
	支出				
	人件費	23,614	28,527	4,913	看護師1名増員
	光熱水費	4,718	4,455	-263	
	設備等保守点検費	150	150	0	
	清掃・警備費等	3,198	3,320	122	環境整備・業務委託費の値上げ
施設維持修繕費	476	721	245	給湯器修繕	
事務局費	8,087	7,360	-727		
その他支出	3,085	3,385	300	減価償却費	
計(B)	43,328	47,918	4,590		
収支①(A-B)	7,639	-2,612	-10,251		
自主事業	収入(C)	0	3	3	
	支出(D)	0	3,820	3,820	
	収支②(C-D)	0	-3,817	-3,817	
合計収支(①+②)	7,639	-6,429	-14,068		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>現利用者の高齢化・重度化が進み、入院やショート併用、老健入所などで稼働率の伸び悩みがある。新規利用者也減少している様子。元気につながる取組みをしっかりと行い、「利用する」サービスから「利用したい」サービスへの再構築していく。</p>	<p>府中市北部圏域の高齢者の生活を支える法人として、地域とのつながりを重視して運営され、適切に運営が行われている。</p> <p>施設の維持管理については、新型コロナウイルスの影響により立ち入りを制限しており、実地での確認ができていないが、大規模修繕等の必要に応じて計画的に実施していく。</p> <p>利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったが、目標は達成されている。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>各種設備の老朽化がみられ大きな設備の修繕などが必要となっている。利用者の方が選択できるメニュー作りなど、今までとは違うサービス内容を検討しマンネリ化を防止する。デイサービスでも重度化や高齢化はみられ、みなさんの元気につながる取組みをさらに進めていく。通所介護のサービス内容の周知が地域住民にできていない。施設広報誌などでアピールをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域のサービス需要を反映した事業実施 ○安定的な事業継続に向けた取組